

第 34 回 身体運動科学シンポジウム

第 236 回 生命環境科学系セミナー

Neurodiversity と身体運動科学

令和 8 年 9 月 12 日 (土) 12:45-16:30

東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール

■プログラム

工藤 和俊 (東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 教授)

開会の挨拶 (12:45-)

吉岡 伸輔 (東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 准教授)

教養学部・統合自然科学科・スポーツ科学コース / 大学院総合文化研究科・広域科学専攻・身体運動科学 紹介

第 1 部 (13:00-13:50): 基調講演

來田 享子 (日本体育・スポーツ・健康学会 会長, 中京大学 大学院スポーツ科学研究科・スポーツ科学部 教授)

『承認される身体』を問い直す—近代スポーツからニューロダイバーシティ時代の身体運動科学へ

第 2 部 (14:00-16:30)

細野 正人 (東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 高度学術員)

「ニューロダイバーシティ時代の身体運動科学への期待

—標準から個の最大化へ、身体を捉える「視座」の転換—

小林 寛道 (東京大学 名誉教授, 小林寛道スポーツ健身事務所 社長)

「視床出血の後遺症患者のマシントレーニング、および知的障がい者、
リハビリ、歩行能力低下者のマシントレーニングから見えてくる脳と神経系の働き」



古田島 浩子 (公益財団法人東京都医学総合研究所 臨床医科学研究分野 依存性物質プロジェクト 研究員)

「ペア飼育による遺伝型相互作用が社会性行動と DNA メチル化プロファイルに与える影響」

TSC モデルマウスを用いた解析」

柳原 大 (東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 教授)

「脆弱 X 症候群モデルマウスにおける運動習慣による

運動技能の向上」



■参加登録 (要事前登録・無料)

右の QR コードあるいはその下の URL より
事前の参加登録をお願いいたします



<https://forms.gle/vfc1anAZdbaJnTqa7>

■アクセス・キャンパスマップ

JR 山手線等・渋谷駅、小田急線・下北
沢駅、京王線・明大前駅より井の頭線に
乗り換え、駒場東大前駅より徒歩 5 分



主催：東京大学 大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室
共催：東京大学 スポーツ先端科学連携研究機構 (UTSSI)